

# 最終回 市民ワークショップ

## 「私たちが考える、公共施設再配置(案)」

### をテーマにグループ討論を行いました

9月23日(土)篠ノ井公民館で、市が主催する最後の「公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存の公共施設の再配置を考えるグループ討論を行い、まとめとなる意見発表を行いました。アドバイザーの堤先生から講評をいただき、住民自治協議会の平林会長のあいさつの後、樋口副市長から御礼のあいさつを申し上げます。最後に参加者全員で記念撮影を行い、篠ノ井地区のワークショップは幕を閉じました。



各グループから、篠ノ井駅周辺の公共施設の再配置案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。(詳細は次ページをご覧ください)

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、住民自治協議会をはじめとする地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

**市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。**



今回のワークショップは、上は80代の方から、下は中学生まで、幅広い年代のメンバーが、熱い討論を重ねていただきました。

「ミーコ」の生みの親である、長野俊英高等学校の生徒達も参加してくれました。

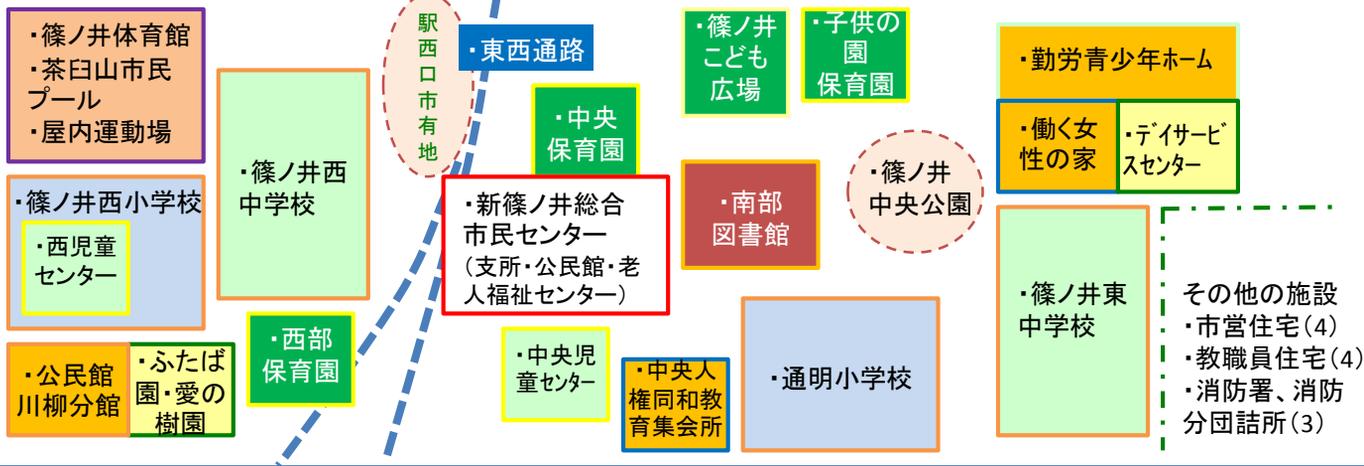
【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

篠ノ井支所 電話:292-2590

篠ノ井駅周辺の施設イメージ図（施設の配置を簡略化した図です）

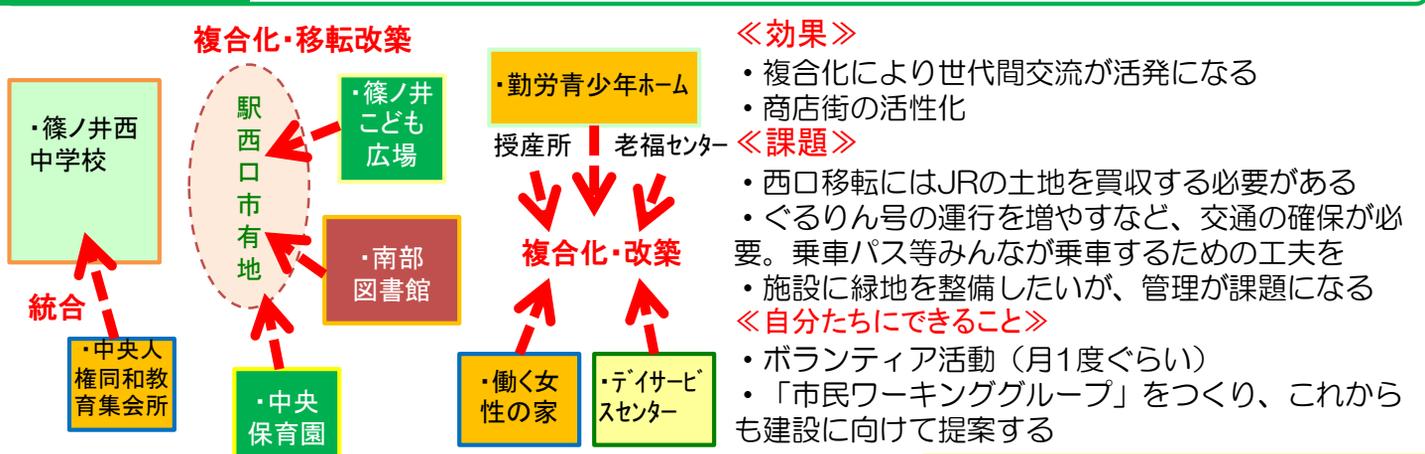


各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

以下に、建物移す案を **--->** で、機能を移す案を **--->** で、表しています

**Aグループ**

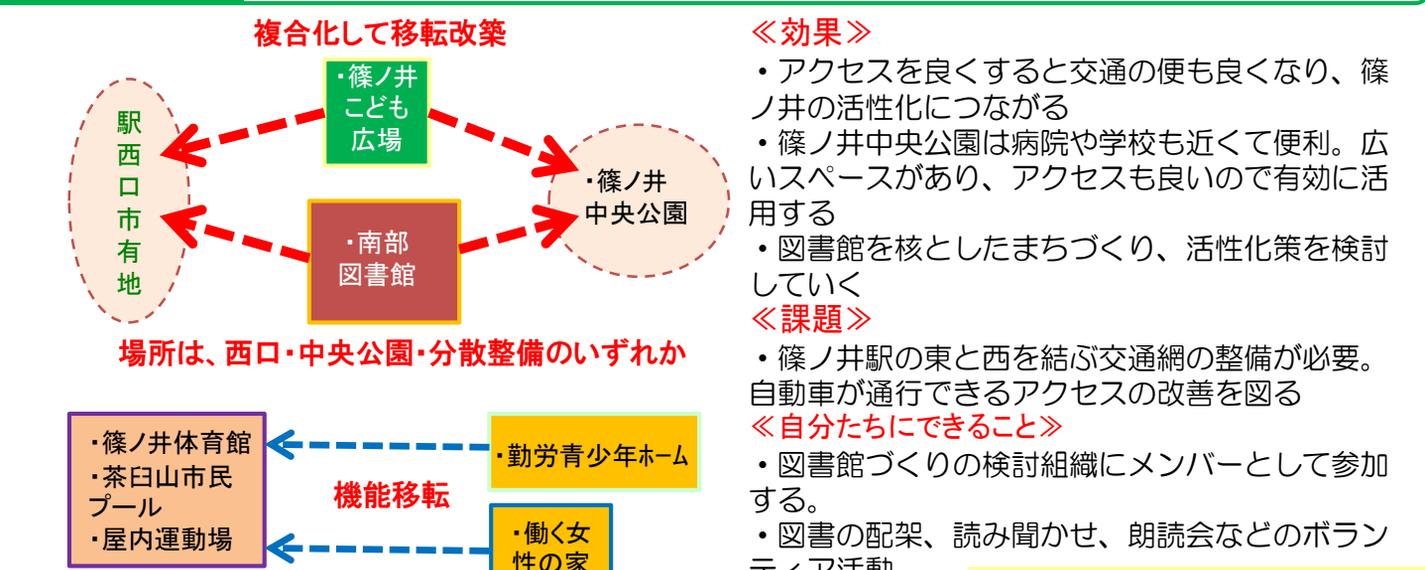
**コンセプト【50年100年後も生き生き活用できる施設】**



【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

**Bグループ**

**コンセプト【南部にも核となる図書館を！】**



【Bグループ】 人生の先輩の皆さん



# 参加者アンケートの主な意見をご紹介します



アドバイザー 堤先生

住自協 平林会長

樋口副市長

## 【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

- ◆図書館が無い市町村もある中で、地域に図書館があることが有難いと思う
- ◆公共施設はそれぞれ特徴があるので、複合施設の難しさを感じた
- ◆「人口減少時代の都市像をどう考えるか」とする検討のコンセプトは理解できる
- ◆大勢で話し合うので仕方ないが、深くかかわって意見を出せる時間が短いと思う
- ◆今後の取り組みの中で、より議論を深め、より良いまちづくりに生かして行くことが必要

## 【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

- ◆より良い図書館を目指して、将来すばらしい図書館が生まれることを望んでいます
- ◆色々な意見に遭遇してとても参考になり、楽しくすごしました
- ◆西口は住宅エリア。住宅なら今のアクセスで良い。図書館は中央公園又は埋蔵文化センターの場所に。駅の西側にするなら道路を開通してからにすべき

## 【Cグループ】 お父さん・お母さん世代の皆さん

- ◆篠ノ井の住民にアンケートを取ることで、家族の中でも話し合える良い機会になるのでは
- ◆お金が無いといいながら、夢がつぶれるというのはいかがなものか。工夫していくこと、長野市を良く考えていくべき
- ◆ワークショップは全ての入り口だと思う。今後のやり方、プロセスを含め明示していただきたい。南部図書館は十分な検討の機会を作って欲しい

## 【Dグループ】 これからのリーダー・若手の皆さん

- ◆どんな街をつくるのかコンセプトを考えて積上げていくことが重要。施設単体で考えていてはバラバラなまちづくりになる気がする
- ◆建物の図面が出来る前のワークショップは画期的。意見を出しやすい場づくりも良かった
- ◆床面積を拡大しない案を考えたいと思っていたが、やりたいことをまとめていくと現状より大きくなってしまった。メンバー公募の段階で具体的なテーマを示した方が議論が深まる

## 【Eグループ】 大学生～中学生の皆さん

- ◆自分に関係ない施設ばかりだと思っていたが、住民が協力してこれからのことを考えなければならないことを思い知らされた。新しい施設を作る際は複数意見を聞くのが大切だと感じた
- ◆篠ノ井の未来を考えられて良かった。市民に愛されて使われている公共施設はすばらしいと思うし、今後も続いていくと良いと思う
- ◆未来を変えようとみんなで話し合い、それが現実になる可能性がある
- ◆利用しない施設が多い中、ランニングコストが高いことも聞き、ぜひ無駄を無くして欲しい

【堤先生の講評から】参加メンバーの皆様に感謝。ワークショップで終わりにしたくないという意見が多かった。4回の限られた時間の中では具体的な提案までまとめるのは専門家でも難しい。ワークショップはスタートのきっかけ作り。地域住民の皆さんが、自らこれからの取組を考えて、主体的に行動し、行政を巻き込んでいくような活動が必要。私も可能な範囲でお手伝いしたい。1月20日に芸術館で市民シンポジウムを開催するので、ぜひ参加いただきたい。

塩崎・信里・共和・東福寺などの公共施設については、別途検討する予定です。  
今後も引き続き、ご協力をお願いします。

